
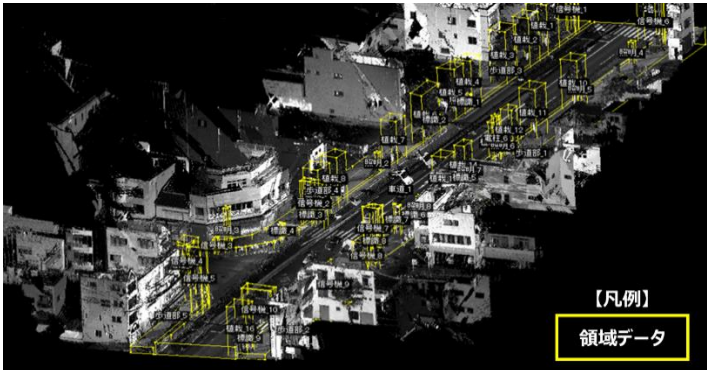


受賞者氏名	今井 龍一	
所属	デザイン工学部都市環境デザイン工学科	
受賞年月日	2024年6月3日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	公益社団法人 土木学会	
受賞名	デジタルツイン・DX 論文賞	

受賞(研究)内容詳細	<p>業績名: 点群のプロダクトモデルの構築に向けた道路地物の領域データの自動生成に関する研究  <a href="https://committees.jsce.or.jp/struct1002/node/47">https://committees.jsce.or.jp/struct1002/node/47</a>  <a href="https://doi.org/10.11532/jsceiii.5.1_159">https://doi.org/10.11532/jsceiii.5.1_159</a></p> <p>共著者:  山本 忍 (法政大学大学院)  今井 龍一 (法政大学)  中村 健二 (大阪経済大学)  塚田 義典 (麗澤大学)  麻生 紀子 (ダイナミックマッププラットフォーム(株))</p> <p>レーザ計測機器の活用に伴い、国土空間の点群が計測・蓄積されている。レーザ計測の成果である点群は、位置座標を保持した点の集合体のため、用途展開を図るには空間処理しやすいデータセットに加工する必要がある。この一方策として、著者らは点群のプロダクトモデル化に取り組んでおり、道路図面や自動運転用の道路地図(HD マップ)を基に生成した地物の領域データと地物単位の点群を用いて、地物識別モデルを構築した。一方、図面や地図がない区間では、プロダクトモデル化に必要な領域データが生成できないことが課題としてあげられていた。</p> <p>本研究では、地物識別モデルを用いて、地物の領域データを自動生成する手法を考案した。その結果、HD マップや提案手法の領域データを比較し、地物の点群から領域データを自動生成できることを明らかにした。</p> <div style="text-align: center;">  <p>道路のプロダクトモデル化イメージ</p> </div>
------------	--